

## 「エチオピア国ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズ2」の概要・成果

1. **目標**：ベレテ・ゲラ森林優先地域において、住民と行政による持続可能な森林管理(保全・利用)の仕組みを構築し普及する。

2. **プロジェクト実施期間**：2006年10月～2010年9月(4年間)  
(延長フェーズ：2010年10月～2012年3月)

3. **基本方針・アプローチ～森林管理と生計向上の両立を図る**

方程式「森を守る」＝「生活が良くなる」を解く

(1) 参加型森林管理システムの構築と実践

- ◇ 森林管理組合 (WaBuB) の設立と森林管理契約の締結 (森林優先地域内での居住・利用権を確保)
- ◇ 住民・行政の森林管理に係る権利と義務の明確化

(2) 生計向上支援活動 (森林管理につながる生計支援)

1) 森林コーヒー認証プログラムの実施

- 森を守り適切に利用することに対する農民のモチベーションを高める。
- 森の価値 (森が富を生む) を実感してもらう (プレミアム価格によるコーヒーの販売)。

2) WaBuB フィールドスクールの実施 (森林内への農地拡大圧力軽減を図る)

- 改良農業・アグロフォレストリーの導入 (土地利用の多様化・既存農地の生産性向上)
- 農民の問題解決能力強化、女性の参加促進 (WaBuB の機能強化につなげる)

4. **成果・インパクト**

(1) ベレテ・ゲラ森林優先地域内 (全 125 集落) の 90%以上の集落で WaBuB を設立した。

- インパクト調査 (衛星画像をリモートセンシングにより分析) により、WaBuB の設立が森林荒廃を軽減することが確認された。

(2) 3年間で約 7,500 名の農民が WaBuB フィールドスクールを卒業した。

- インパクト調査により卒業生の世帯所得が年平均 70 ドル上昇したことが実証された。

(3) 延べ約 8,000 名の農民が森林コーヒー認証プログラムに参加した。

- オロミア森林公社から兼松(株)へ森林コーヒーを輸出することにより高額利益が確保された。(森林コーヒー輸出による純利益の 70%を WaBuB へ還元)

5. **プロジェクト運営管理における工夫・留意点～より効果的に成果を出すために工夫したポイント**

(1) 面的な展開を図る ～ パイロットアプローチは採用しない (森林内の全集落を対象とする)

- 森林管理は火急の課題。短期間にベレテ・ゲラ森林全体を WaBuB でカバーするための普及戦略・実施体制を構築した (農業普及員の活用、活動のパッケージ化等)。

(2) 民間企業との連携 (兼松(株)、(株)生活の木) ～ “森林管理・保全” と “生計向上” を両立させるための鍵となる (参加型森林管理実施における財政的自立発展性を確保する)。

- 認証取得、生産・品質管理、マーケティング、輸出まで森林コーヒーの Value Chain 全体をプロジェクトで支援する (認証取得だけではプレミアム価格は得られない)。

### ベレテ・ゲラ森林優先地域の基本情報

面積：約 150,000 ヘクタール

対象：44 村 (2 郡) の 125 集落

世帯数：約 16,000～18,000 世帯

行政側の管理主体：オロミア森林公社

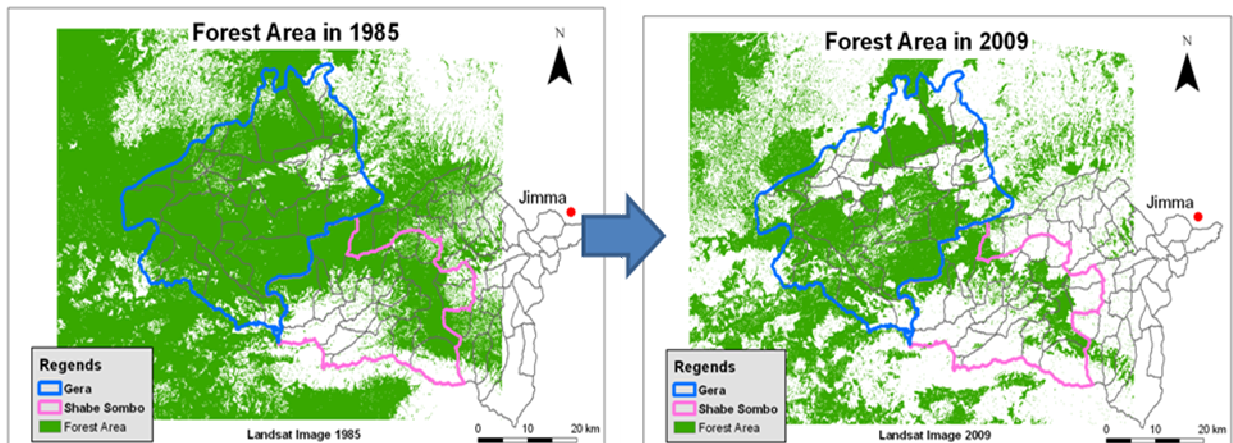
### ベレテ・ゲラ森林の特徴

- エチオピアに残る貴重な天然林
- Afromontane Rainforest (1,500～3,000m)
- コーヒーアラビカの本産地
- アフリカ原生樹種・野生動物の宝庫

図1:プロジェクトサイト（ベレテ・ゲラ森林優先地域）

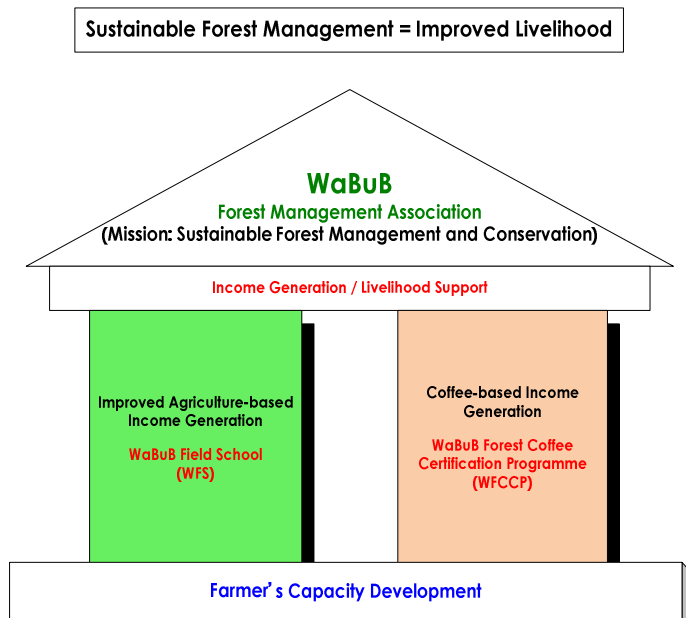


図2：ベレテ・ゲラ森林優先地域における森林荒廃の現状



森林荒廃の主な原因: 1) 森林内への農地の拡大、2) 違法居住者による森林の農地化（他地域からの移住）、3) 違法伐採

図3：プロジェクト実施コンセプト（森林管理と生計向上の両立）



～屋根(WaBuB)を支える柱(生計向上支援)と基礎(農民の能力強化)の重要性～

- ◇ WaBuB (森林管理組合)の機能強化を図るためには、その土台となる農民の意識変化・キャパシティ開発が重要となる。
- ◇ 生計向上支援の2本の柱(森林コーヒー認証プログラム、WaBuB フィールドスクール)の実施を通じて、“森を守る”ことに対する動機付けの醸成と、WaBuBの組織力強化を図る。